

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、
よい経営環境をめざす」

入会申込
フォーム



おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

2022年（令和4年）

12月号

No. 417



発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小嶺1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に 輝く No.217

貸衣裳専門店とトップランナーの顔

あらがき貸衣裳は沖縄
県で唯一、貸衣裳を専門
にしている事業者。営業
部長の倉岡弁慶さんを訪
ねました。

一九七五年に呉服屋と
して創業。母方は奄美の
出身で、伯父さんが那覇
で呉服屋をしていたこと
ろ奄美に帰ることにな

り、お母さんがそのお店
を引き継いだのが始まり
です。倉岡なのになぜ「あ
らがき」なの？という疑
問の答えがここ。お母さ
んの旧姓が荒垣（あらが
き）だからなんです。や
がてお父さんもお店を手
伝うようになり、安い着
物を売っているよりも、
高い着物を貸した方が商
売になるのでは、と貸衣
装に切り替えました。最
初は美容室を中心に順調
だった貸衣裳ビジネス
も、やがて結婚式場やホ

テル、写真館などが貸衣
装も扱うようになり、専
業で貸衣裳を続けるのは
なかなか厳しい状況にあ
るそうです。

将来の二代目として、
そんな貸衣裳事業の未来
をどう描いているのかお
尋ねしたところ、弁慶さ
んは五人兄弟の四番目。
五人のうち次男を除く四
人があらがき貸衣裳で働
いていて、誰が継ぐのか
まだ決まっていらないと
のこと。

「慶び(よろこび)を弁(かた)る」

あらがき貸衣裳 営業部長 倉岡 弁慶 氏（那覇支部）



そこで、弁慶さんのも
う一つの顔をご紹介します。
す。その前に名前の弁慶。
貸衣裳はお祝いごとの商
売なので「慶（よろこ
び）を弁（かた）る」とい
うところから名付けられ
たそうです。

NAHAMARASON 県勢トップランナー

BreakThrough RunningClub 立ち上げ

高校を卒業すると中国
北京にある大学へ。向こ
うでも他の大学の陸上部
で練習を続けるほどの長
距離好き。三年で帰国し
て九州一周駅伝の練習に
参加するようになり、補
欠に選ばれるようになった
あたりで、沖縄大の
コーチから誘われて夜間
へ編入。この頃は、朝練

↓あらがき貸衣裳の仕事
↓練習↓授業の毎日、
とんでもなく大変だった
と振り返ります。そうし
た努力がやがて成果とし
て表れ、高校一年から出
場し続けていたNAHAMARASONでも毎年の
ようにTOPIOに名を連
ねるようになりました。
二回目の沖縄県勢トッ
プ（全体五位）となった
二〇一三年には、友達と
一緒にBreakThrough
RunningClubを立ち上
げ、毎週二回のペースで
練習指導を続けていまし
た。クラブの運営自体は
試行錯誤の連続。採算を
取るためには会員を増や
す必要があるけれども、
会員が増えたと満足度を
上げるためにスタッフを
増やさなければならな
い、というたちこっこ
を続けてきました。そこ
で、来年六月で十年の節
目となるのを機に、クラ
ブを法人化したいと考え
ています。クラブの運営
はもちろんのこと、企業
の健康経営をサポートす
る事業へ広げていきたい
とのこと。

走ることではもう一
つ。弁慶さんが運営して
いるようなランニングク
ラブや「走ろう会」など
で結成されている沖縄ラ
ンナーズクラブ連合会と
いう団体があります。毎
年、四月に残波岬、七月
に奥武山で駅伝大会を開
催しているのがご存知の
方もいるかも。今年から
その会長を弁慶さんが務
めています。将来は沖縄
県内の市民ランナーの中
で、中心的な役割を担う
人になつていくの、かも
しれませんね。（伴走舎・
牧野誠）

沖縄ランナーズクラブ 連合会会長就任

《会社概要》

あらがき貸衣裳
営業部長 倉岡 弁慶 氏
〈那覇支部〉

所在地／那覇市寄宮2-12-1松堂ビル1F
TEL／098-833-6853
業務内容／結婚式の案内・予約・
冠婚葬祭式服貸衣裳・儀式アドバイザー
URL／https://www.aragaki.okinawa/



2023 新春のつどい

日時 2023年1月20日(金) 16:00~19:00
会場 ラグナガーデンホテル
内容 第Ⅰ部「新春講演」(16:00~17:45)
第Ⅱ部「名刺交換会・懇親会」(17:55~19:00)

講師 うちな〜断家 志いさ（高座名）
本名 藤木 勇人（ふじきはやと）

行事案内

茶論

「思いもよらない事
態で、対応に追わ
れるスタッフと戸
惑いの表情を隠し
きれない利用者
が、那覇市の図書館が
十月十三日、サイバー攻撃を
受けたことでシステム障害
に見舞われ本の貸し出しな
どが出来なくなってしまう
と、コンピュータウィ
ルス「ランサムウェア」によ
る被害の実態をマスコミ各
社が報じた。筆者も大方の報
道特集番組で有識者として
見解を述べた。「標的にされ
ると避けられない状況が多
い。相手は姿が見えない。身
代金を払ってもシステムが
復旧できる保証はないし、被
害は増加傾向にある」と警戒
を促した▼感染症対策は、医
学の進歩と新薬開発で対応
できるかもしれないが、ハッ
カー集団などの犯罪組織は
古今東西消えることはない
し、サイバー攻撃はますます
巧妙化している▼サイバー
リスクへの対策は①予防②
防御③対処④費用が必須④
条件といわれている▼会社
経営の課題は多岐にわたる。
人材の採用育成、売上拡大
資金調達等々あるが経営環
境変化への対応も忘れては
ならない▼国は中小企業に
大地震、水害、コロナ、サイ
バーリスクへの防災・減災事
前対策「事業継続計画(BCP)」
の策定運用を求めている。認
定されると支援策も受けら
れる▼第三十六回定時総会
議案書にも「本格的なBCP(事
業継続計画)の実践が求め
られます(P15)」とある▼
先人の言葉に「さきさきより
も百万万倍も・御用心ある
べし」と。油断大敵である。
(仲地治)



歌と三味線の演奏

障がいのある方が地域で働き、地域で暮らすために 第16回雇用・就労支援フォーラム



最優秀作品



全体の様子

今年も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらもリアル、Zoomのハイブリットでの運営開催の運びとなりました。

記念講演、見学分科会を含む四分会に企業家、行政、福祉、学校関係者が参加し、障害者雇用の事例報告、支援の在り方、新しいビジネスモデルなど学びを深めました。



小野寺氏

基調講演

働く環境を提供することは企業の責務
障がい者は戦力、共に働く関係

ました。

基調講演は、厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課長 小野寺徳子氏をお呼びして「障がい者は戦力 共に働く関係」をテーマにお話ししていただきました。

これからの障害者雇用の在り方、中小企業の努力など多様な働き方に答えられる環境整備、短時間労働者、特に精神障がい者の方々への配慮も含め採用されてから継続雇用ができるよう、今後の障害者雇用施策の充実強化についての意見書のとりまとめを紹介。障がい者の特性を生かし、持てる能力を発揮して活躍できる社会の実現に向けて、会社の中で必要とされる人材として輝くステージがあり、中小企業の大きな戦力となる障がい者雇用。また、それは社内全体の人材育成、多様な働き方の推進の中心的役割を担います。

十月二日（日）に、第十五回雇用・就労支援フォーラムがもとぶ文化交流センターとZOOM併用にて、百六十一名の参加で開催されました。

第四回「はたらく人」「将来の夢」「あこがれの仕事」をテーマに募集した絵画では、最優秀賞に岬特別支援学校の友寄勇樹さんが選ばれ、会場に展示ブースが設けられました。

オープニングは、（福）名護学院生活介護事業所桃の樹の玉元克哉さんによる三味線演奏、（一社）アトリエみらい就労支援A型事業所リンクの仲里大地さんによる三味線演奏から始まりました。その後、体験発表に沖縄高等特別支援学校高等部三年の砂川幸輝さん（在校生）、（株）アイセック・ジャパンの赤嶺誠さん（就業者）、タピックススタジオ名護の大城博夢さん（就業者）による発表を行い、基調講演・各分会へと移りました。

第一分会では、実際に雇用している企業の報告として、（有）宇根自動車の宇根真一社長より「僕の挑戦、やってみて分かる障がい者雇用」というテーマで報告いただきました。



宇根氏

第1分会
会社全体の生産性が向上！
やってみて分かる障がい者雇用

宇根氏は「僕らの挑戦、やってみて分かる障がい者雇用」というテーマで報告いただきました。宇根氏は「僕らの挑戦、やってみて分かる障がい者雇用」というテーマで報告いただきました。宇根氏は「僕らの挑戦、やってみて分かる障がい者雇用」というテーマで報告いただきました。

宇根氏は「僕らの挑戦、やってみて分かる障がい者雇用」というテーマで報告いただきました。宇根氏は「僕らの挑戦、やってみて分かる障がい者雇用」というテーマで報告いただきました。



全体の様子

が来るのか最初は不安もありました。二年間で約五十日の就業体験が終了後、支援学校の先生から「卒業後の就職までみてもらえないか」と相談があり、宇根社長はすぐ戸惑いながらも入社後すぐに退職した仕事にミスがあったりすること、S君の就業体験中の真面目かつ丁寧な仕事ぶりを見ていたことから採用を決断しました。今ではS君のおかげで分業が進み、会社全体の生産性が向上するなど

第3分会は、「働きたいに際しては地域との連携と協働」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

障害者就業・生活支援センターティード&チーム中村淳子氏がコーディネイターをつとめ、パネリストには【行政】（名護公共職業安定所末松睦子氏・山城究氏）、【学校】（名護特別

第3分会
行政・学校・企業が連携
障がい者の働きたいに際して

本分に雇って良かったと言います。

今回の報告を聞いて障がい者雇用は決して難しい事ではない、他の社員と同じで差別ではなく区別してあげることが大事だと感じました。自社でも雇用できるんじゃないかと思った参加者も多かったと思います。

報告後のグループ討論でも活発な討論が行われ有意義な分会となりました。

（株）琉球若草・大森陽介



全体の様子

（次のページに続く）



原田左官工業所視察

ビジネス連携部会「ゆいま〜る」では十月二十七日、東京都にある(有)原田左官工業所を視察、取り組みや体験談を聴かせて頂きました。沖縄からは七社、合計十五

名の参加がありました。前半は左官業の歴史や今後の発展について学び、後半は人材の採用と育成について取り組み事例のご説明を頂きました。採用については、HP

やSNSに力を入れ、多くの方に左官の魅力が伝わるよう工夫されているというところが、時代に合った取り組み方で、素晴らしいと思いました。また、育成について

は、入社後の一ヶ月間は現場には行かず、左官業の座学と実技を何度も繰り返し学ぶことで、現場



視察の様子



分科会の様子

見学分科会は、旧崎本部小学校施設を活用した「子どもサポートプログラム」を視察しました。見学後、学校の教室に移動し、崎濱理事長から、(福)アタイハートネットワークの理念を説明いただきました。



旧崎本部小学校



展示場に丸大！

三月に好評だった「ゆいま〜る」六次産業化委員会企画の『島のいいもの再発見フェア』の第三

回が、スーパー丸大（南風原店）にて開催されました。県民の皆さんに県産品の良さを知ってもらいたい、生産者の思いやストーリーを伝え、良い商品と実感し買って欲しいという目的のもと、同友会企業五社が出展しました。

平田氏は平均年齢八十四歳のおばあちゃん合唱団（KBG84）の紹介やくるち（黒木）の杜百年プロジェクトについて話されました。特に、くるちの杜百年プロジェクトでは、現在三線の棹の九十九%がフィリピン産を使用しており、三線の伝統を守るために沖縄

十月七日、沖縄産業支援センターとZoom併用にて、第二十七期同友会大学第八講が開催され、「実践事例に学ぶ 文化を基調とした地域おこし」のテーマで南島詩人の平田大一氏を講師に十九名が参加しました。

最後に地域おこしを始める時は、ユニークとインパクトが必要であり、ミスマッチほど、より印象的で続けやすく、また中心者（リーダー）達の笑顔がどれだけ人をひきつけるかどうかが必要だと語りました。

第4分科会

土壌から食卓までの人のつながりにみる協働活動



パネリストの方々

連携して取り組んだ「企業向け特別支援学校授業見学会」を紹介しました。これまで、企業側には「どのような業務を任せたら良いか不安」などの声があり、就職した生徒が「イメージが違った」と長続きしないという課題があります。特別支援学校の授業を企業が見学することは、雇用に向けて互いの理解を深め、情報共有することで、不安感の払拭に繋がる非常に有意義な取り組みだと感じました。

地域企業からは「地域貢献」という理念のもとに雇用に取り組んでいくという想いが話されました。また、「地域貢献」はグループ討論テーマとしても深め、地域に根ざす経営者としての責務を見直しました。雇用する側・就職する側のマッチングの場づくりの重要性を、改めて感じたパネルディスカッションでした。(株)アイランドプロジェクト・新井章仁

とは、子供から大人までが「心を寄せ合い」「支え合い」「協力し合う」という、自然発生的に起こる人々のつながりを意味しています。見学中は、畑を抜けたその先にある小川に足を浸したりしながら、説明に聞き入っていました。食育を通じて、手を差し伸べすぎない子ども達の自立をサポートしていく。枠にはめた教育ではなく、この環境から学ぶことにおもきを置き、実践していることに感心しました。

「子どもの家」も開墾した農作地も、子供から大人までが学びのフィールドであり、まさにこの土地で無ければ実現しない環境です。大人達もわくわくするようなコミニティーを創造し続ける(福)アタイハートネットワークから目が離せません。(海外人材職業訓練協同組合・寺川)



平田氏

文化を基調とした地域おこし
「老いも若きも未来の宝」

第27期同友会大学第8講

出展にはお茶や島どうふ、ハム、芋、本、ポストカード、子育て良品の商品など、様々な商品が並び、今回もたくさんのお客様に好評でした。第四回は開催予定ですので、ぜひ皆さんの出展・参加お待ちしております。(事務局)

また十月十四日、八月二十一日に同友会大学第九講と十講が沖縄産業支援センターとZOOM併用にて開催し、九講は「変わりゆく沖縄の海」のテーマでしかたに自然案内代表の鹿谷麻矢氏を、十講は「懸命に生きる人々」日本人こそ学んで欲しい」のテーマで一般社団法人アジア支援機構代表理事の池間哲郎氏を講師に行われました。(事務局)



Zoom併用で開催



文進印刷株式会社

本社／〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4
TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

那覇営業所／〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357

浦添営業所／〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14
TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357

宜野湾営業所／〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357

沖縄営業所／〒904-2165 沖縄県沖縄市宮里2丁目1番3号
TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357

糸満営業所／〒901-0303 沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102
TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357

うるま営業所／〒904-2215 沖縄県うるま市みどり町3-19-5
TEL (098) 973-5676 (代) FAX (098) 996-3357



平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである「JISQ15001:2006 (プライバシーマーク 認定番号24000306 (07))」を取得いたしました。

第34回 輝く女性経営者のついで
ハイブリッド開催で、
200名余りが参加！



川端氏

十月五日パシフィックホテル沖縄にて碧の会『第三十四回輝く女性経営者のついで』が開催されました。

開会セレモニーでは、『永続的に女性リーダーを育成する』の目的で三周年設立記念時に創設されたチャリティ基金『ネクスストーリー賞』の表彰があり、沖縄大学経済法商学科二年の我如古芹璃さんが受賞しました。

今回もZOOM併用でハイブリッド開催で、二百名余りが参加。

講師には、奈良同友会代表理事である川端運輸（株）取締役会長川端章代氏を迎え、『薄紙を重ねるように』生成化



沢山の男性会員も参加！

第21期社長・社員共育塾第3講
夢を叶える三原則
社員を幸せにする20年計画



謝敷氏

十月十八日、産業支援センターにて社長・社員共育塾第三講が開催され、七十九名が参加しました。

第三講では、(株)リウデンの取締役総務部長謝敷千恵子氏を講師に迎

育で発展する経営を目指して』と題し、講演頂きました。

川端氏は、三十六歳で離婚し三人の子供を連れ実家に戻ったところから、人生の転機が訪れました。姉夫婦が両親と経営していた会社を引き継いだところ、社員の飲酒事件や荷主からの営業停止など大きな危機に直面。そこから、人材育成の大切や家族経営からの脱皮を決意。同友会との出会いから、会社の改革に着手。京都同友会実践

道場に通い自分と向き合い、理念経営を徹底的に実践していきます。

財務体質の改善、戦略転換、さらに十年で『全参加型学習企業』へと人間力を重視する企業へと変革。現在では息子さんへ事業継承し、社会問題解決事業にも取り組んでいます。穏やかな語り口からは想像もできない熱くパワフルな人柄に感銘を受ける方が多数。グ



国吉氏

役員研修講座第2講
企業づくり・地域づくり
同友会づくりを学ぶ

十月六日、役員研修講座第二講が「高度経済成長期、その時、同友会はどう動いたか！同友会理念の先進性と普遍性を探る」というテーマのもと、中同協顧問である国吉晴氏を講師とし

社員がサポートしてくれたことを紹介しました。

会社が好きで理由の一つに、経営理念「人間を幸せにする」があり、社員に浸透させる為「読む力・聞く力・話す力」を



講義中の様子



講師を囲んでの実行委員メンバー

ループ討論も大いに盛り上がった「ついで」となりました。（株）カリタス・根橋理香）

て開催されました。

高度経済成長期に大企業と中小企業の間には存在した不均衡な雇用構造から脱却し、中小企業を近代化する目的で一九六三年七月六日に中小企業基本法が成立するまでの流れを、日本中小企業家同友会設立から各地に同友会設立の動きが広がっていった背景を解説頂きながら講義が行わ

実践し、失敗談も含めた事例を報告いただきました。

また、「幸せの三原則」の一つ、未来に夢をもつ話では、入社から「人生二十年計画」を作成すること、変化が表れると

面などの相談・講習など、(株)リウデンが社員を大切にしている姿が伝わりました。

グループ発表では「成功宣言」もあったりと参加者からは満足の声がありました。（事務局）



働き方改革の成果として有給休暇の取得率は増えましたか。

厚生労働省調査（2021年度）では、30人以上の企業で有給休暇取得率は56.6%、日数は10.1日で、前年比で大きな変化はありません。政府目標は70%です。さらなる取組工夫が必要です。

休暇が取得できないとして、計画的な休暇の

導入もありますが、「年次有給休暇時間単位付与」を活用する企業も増えています。

時間単位有給は、半日・1日休暇と違って時間単位で取得できる有給です。

「そんなこと、以前から実施しているよ」という企業もありますが、時間単位有給を導入するに

必要です。

知ってますか？時間年休のルールを

は、法令に定めたルールで運用しなければいけません。

①労働者の過半数代表者と労使協定を締結する②就業規則への記載が必要。

③メリットとして、①1日・半日休暇以外の選択ができること。

②短時間の私用に利用しやすい。

③中抜けができる。などがあります。

れました。

一九七五年の「中小企業における労使関係の見解（労使見解）」が、労使の信頼関係の確立を軸とするものであることを再確認することが出来たと同時に、同友会理念が

今の時代でも色あせることなく、時代の要請に足るものであることを各経営者が認識し実践していくことが、今後の企業づくり・地域づくり・同友

会づくりにつながっていくことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）



資料を使つての講義

那覇支部例会
新規事業7割、既存事業3割の挑戦



慶田盛氏

十月二十五日、産業支援センターにて那覇支

部の今期初の支部例会が開催されました。

今回は東地区の設営担当で、那覇支部東地区会員の(株)アメニティ社長・慶田盛克磨氏が報告し、ZOOM併用で五十七名

会づくりに繋がっていく

ことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）

会づくりに繋がっていく

ことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）

ことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）

ことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）

ことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）

ことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）

ことを改めて感じた役員研修講座でした。（先嶋産業（株）・友利博明）

参加で行われました。リアル会場にこれだけの人数が集まったのも久しぶりでしたが、やはりコロナの影響でZoomでの参加者もありました。

テーマは「新規事業7割、既存事業3割の挑戦……」で報告。

慶田盛氏は、同社でアルバイト時代から店を任せられ、血縁のない社業を引き受けるまでの話や、実際に社長に就任した途端にコロナによって店舗を閉店するなど、事業継続上のキャッシュフローの話を含め、生々しい報告となりました。

私自身は、報告者の覚悟の決め方が心に残りました。

そうした一人一人の捉え方は、グループ討論



聞き入る参加者達

（プロフィール）
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社会保険労務士法人 オフィスあるふあ
TEL 098-870-6686

青山喜佐子
（社会保険労務士法人
オフィスあるふあ所長）

【注意点は】
・時間単位は1時間未満は取れません
・時間有休の上限は5日まで。（1日8時間勤務の場合、年40時間が上限です）
・年5日義務取得年休に計算できません。
「時間単位年休」をうまく活用して、社員のリフレッシュを進めましょう。

八重山支部10月例会
パン職人から経営者へ
「コロナ禍で気づいた人を生かす経営の大切さ」



今井氏

ともすれば甘くておしやれ感に期待が膨らむ「（同）いまいパン今井陽介さん」のお話。例えば発酵から焼き上がりまでの今井さんの今までのそれは、誰にも真似できないほどの大変なものでした。無給での数年間の修業時代、そしてフランスでの修業を経てマレーシアでの店舗展開、悩んだ末の帰国、開業。その裏側には職人として認められ、事故で生死をさまよ



那覇からお呼びした今井氏とともに！

ました。「プレーヤーから経営者になるための準備ができていますか？」の討論テーマは、今井さんの職人から経営者までの道程

中部支部政策委員会主催ワークショップ
地域づくりの夢を語る
ワークショップ

十月二十八日、北中城イオンモール沖縄ライカムにて中部支部政策委員会主催の「皆で語ろう！私達の考える理想の街づくり！地域づくりの夢を語るワークショップ」が開催され、十四名が参加しました。今回は、星崎浩二政策委員長をファシリテーターに迎え、参加者が「あなた自身や会社が困っていること、提言したいこと」を付箋へ書き出し、沖縄市の中小企業振興基本条例の第四条にある七つの基本的施策のどれにあてはまるものか？をグループごとに考え、話し合うというワークショップを行いました。ワークショップでは行



ワークショップの様子

を基にしたものでしたが、ほとんどがプレーヤー兼マネージャーである八重山支部の会員には我が事として捉えられ、それぞれの今の立ち位置を

事により、おぼろげながらも問題解決へ向けてのイメージができ、活発な意見交換ができました。（株）キモノバナ・山城咲乃

沖縄の産業まつり
3年ぶりに開催！久しぶりの賑わい



沖縄同友会ブース！

十月二十一日、二十三日、沖縄の産業まつりが奥武山公園で開催されました。沖縄同友会は県立武道館内でブースを構え、会員企業5社（OSC（株）、（有）さくら、ソムノクエスト（株）、（有）赤田義肢製作所、（株）沖縄リネ

ク宮古の事業周知により一般の求職者六名が参加し、企業訪問や採用につながった事もあり、開催時期の検討と参加企業を増やしながら、次回以降の開催につなげていきたいと思っています。（先嶋産業（株）・友利博明）

同月二十六日、今年度最後の合同企業説明会は、コンベンションセンターにて開催され、



宮古会場の様子

七十四名の学生が参加しました。来年度の参加をお待ちしております。（事務局）

うりずん研修会アサーションでさわやかな自己表現
自分も相手も大切にしたい自己表現、
自他尊重のコミュニケーション



具志氏

十月十二日に沖縄産業支援センターにて、うりずん研修会「若手経営者のための協働を育むコミュニケーション術」アサーションでさわやかな自己表現」が開催されました。講師として来ていただいた具志薫氏のお話の中で、アサーション

とは、「自分も相手も大切にしたい自己表現、自他尊重のコミュニケーション」という意味があるとのことから、コロナ禍でのコミュニケーション能力が重要視されている現代には必要な要素だと感じました。また講話の中で、相手に伝えようとしていたことと、相手を受け取ったことが違う場合があるというお話がありました。その場合、「相

手が受けつとった内容が、あなたが相手に伝えたことだ」とズバリ。会場の皆さんの大きな共感を得ていました。最後に、うりずん副部長の西平秀氏は閉会の挨拶で、「繁忙期には仕事に重きを置くタスク重視、新入社員が入ってきた時は、コミュニケーションに重きを置いたメンテナンスを重視にと、タスクとメンテナンスのバランスが会社では大切だという事が、今日の一番の学びになりました」と本講義を締めくくりました。（有）バージョン・當間哲也）

簡易企業評価システム「V-compass」の導入について



株式会社沖縄銀行（頭取 山城正保）は、日本M&Aセンターグループが提供するM&A簡易企業評価システム「V-Compass」の取扱いを全国金融機関で初めて導入致しましたのでお知らせ致します。

「V-Compass」の評価は取引事例法を用いており、過去のM&A案件から事業内容・地域・財務指標などが類似している企業の事例を選定し、その売買実績に基づいて企業価値試算を行います。年間3,500件超、累計11,000件（2020年10月時点、簡易的な企業評価を含む）の企業評価算定実績を誇る日本M&Aセンターグループが有する豊富なデータを活用する事でお客さまへ「自社の企業価値」が客観的に判断できる付加価値サービスの提供が可能となっております。



法人、営業性個人全てのお客さまへ無料で提供できるサービスとなっておりますのでお近くの支店へご相談下さい。

お問い合わせ先：沖縄銀行 法人事業部 事業戦略T
（担当：東恩納 / 新城 080-7597-4420）

2022年7-9月期景況調査の結果について（見解）

沖縄県中小企業家同友会は、会員企業から抽出した438社を対象に9月1日から9月30日の期間、「7-9月期景況」についてのアンケート調査を実施しました。その結果について見解を發表します。（本文中、特に断りのない限り前年同期比です）

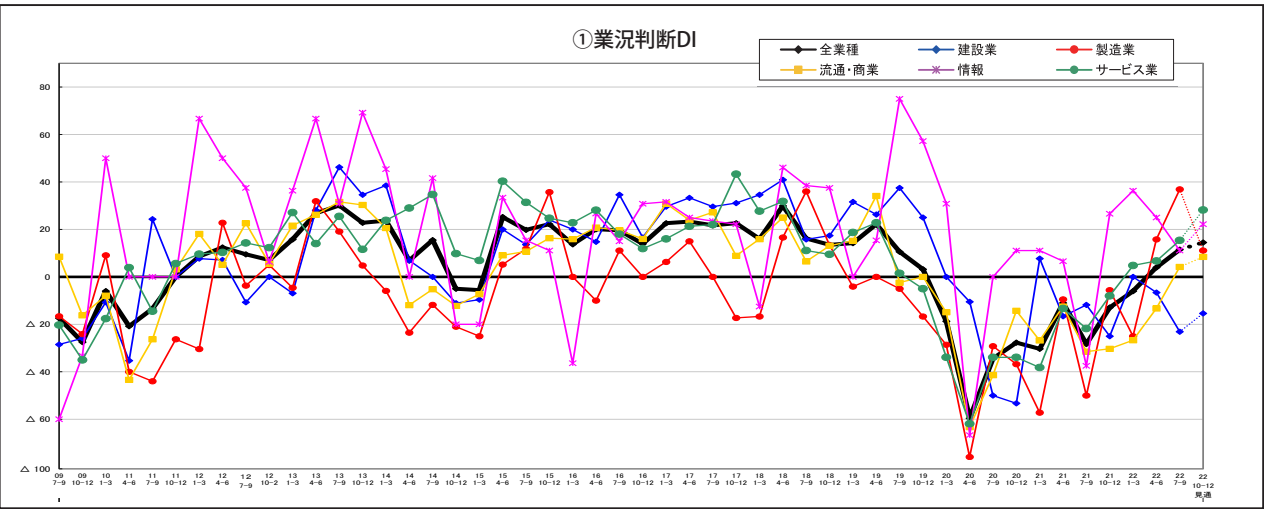
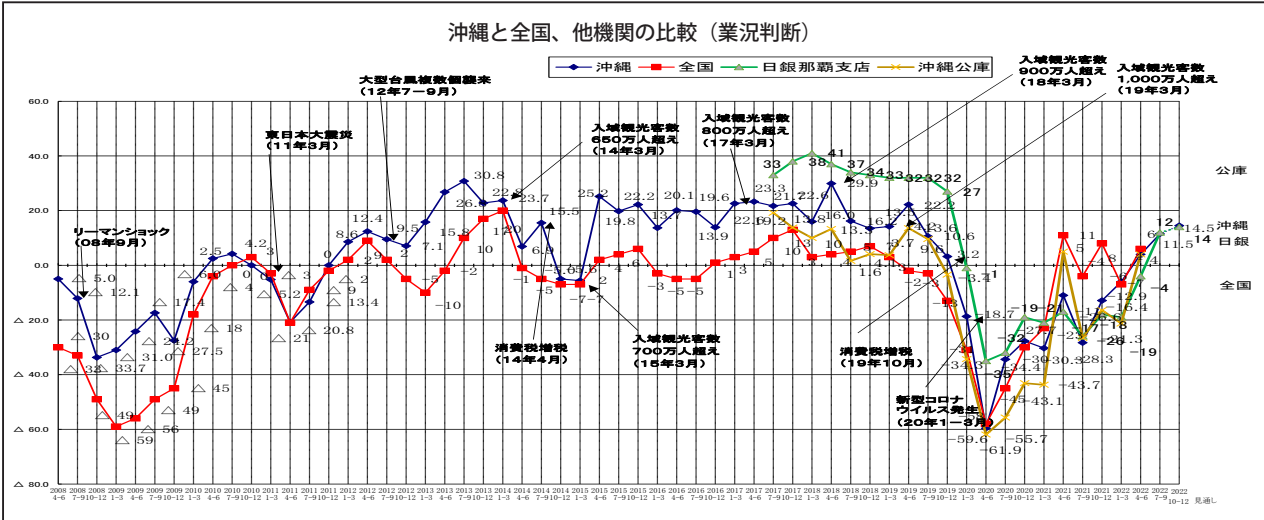
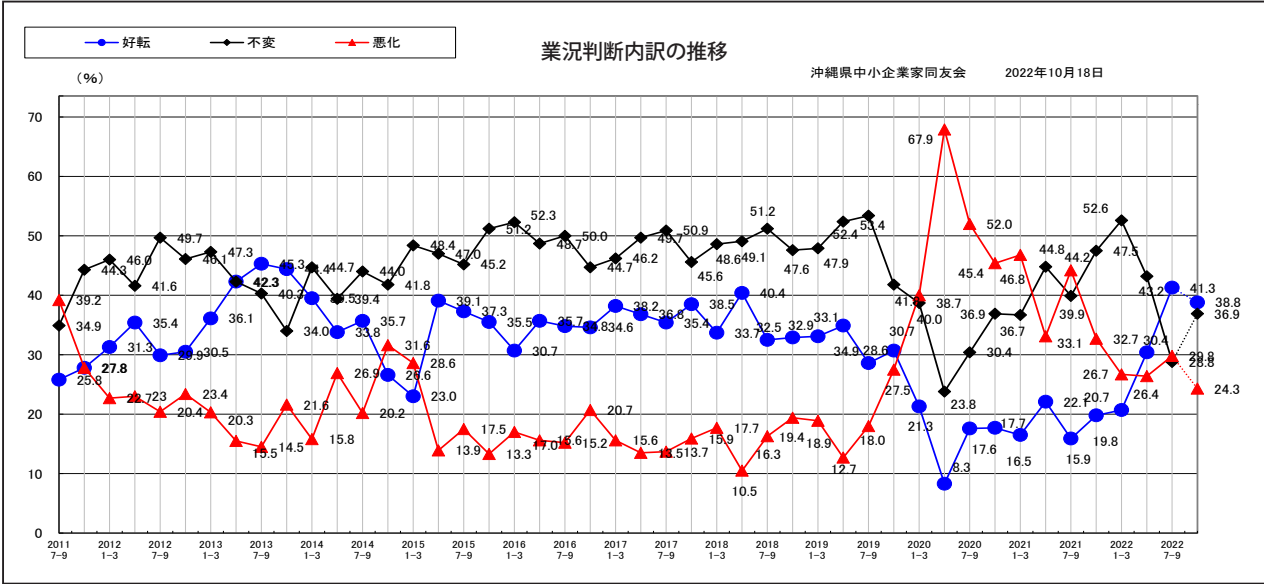
業種	業況判断			売上高DI			経常利益DI			資金繰りDI		
	2022 4-6期 DI	2022 7-9期 DI	増減	2022 4-6期 DI	2022 7-9期 DI	増減	2022 4-6期 DI	2022 7-9期 DI	増減	2022 4-6期 DI	2022 7-9期 DI	増減
全業種	4.0	11.5	+ 7.5	4.8	19.4	+ 14.6	△ 2.5	11.7	+ 14.2	△ 0.8	11.6	+ 12.4
建設業	△ 6.6	△ 23.1	- 16.5	0.0	△ 15.4	- 15.4	15.4	0.0	- 15.4	39.9	33.3	- 6.6
製造業	15.8	36.9	+ 21.1	15.8	66.7	+ 50.9	11.1	36.8	+ 25.7	△ 26.2	△ 5.3	+ 20.9
流通・商業	△ 13.3	4.2	+ 17.5	△ 26.6	4.2	+ 30.8	△ 31.0	0.0	+ 31.0	△ 3.3	8.3	+ 11.6
情報	25.0	11.1	- 13.9	18.8	△ 11.1	- 29.9	12.5	11.1	- 1.4	20.0	33.3	+ 13.3
サービス業	6.7	15.4	+ 8.7	17.7	25.6	+ 7.9	0.0	10.3	+ 10.3	△ 8.6	10.2	+ 18.8

回答企業数

- (1) 回答企業
104 社 回答率 23.7%
- (2) 業種別 () は実数
製造業 18.3% (19)
建設業 12.5% (13)
流通・商業 23.1% (24)
サービス業 37.5% (39)
情報 8.7% (9)

- (3) 規模別 従業員数
＜正 従業員＞平均 27名
＜臨時従業員＞平均 10名

- ①業況判断DIは前期調査(4.0⇒11.5)と比べて改善し、引き続きプラス超。
- ②売上高DIは建設業、情報以外の業種で改善し、流通・商業はプラス超に転化となり製造業は大幅に改善しプラス超。建設業、情報で大幅に悪化しマイナス超に転化。
- ③経常利益DIは全業種で改善しプラス超に転化。業種別では、製造業、流通・商業、サービス業で改善し、流通・商業は水面(0)、サービス業は水面(0)からプラス超に。建設業と情報で後退・悪化し、建設業は大幅に悪化し水面(0)に。
- ④資金繰りDIは建設業以外の業種で改善し、流通・商業、サービス業でプラス超に転化。
- ⑤経営上の問題点は前期に続き「仕入単価の上昇」、力点も前期に続き「新規受注（顧客）の確保」が第1位。
- ⑥先行きは製造業以外の業種で改善し、製造業は後退するもプラス超を維持する見通し。
- ⑦価格転嫁の状況は、全業種で約半数の企業が5割以下で、5割以上価格転嫁した企業は全体の約4分の1。



糸数顧問ありがとうございました！

十一月八日、居酒屋赤とんぼに於いて、「ニライ みらい」の表紙にある「茶論」を三十二年間執筆してきた沖縄同友会の創立代表理事で、現顧問の糸数哲夫氏への慰労会が開かれ、歴代広報委員長やこれまでの執筆担当者、事務局を含め十二名が参加しました。

今年で八十歳の傘寿を迎えた糸数氏は、久美子夫人と参加し、健康管理の話題や同友会の草創期の思い出を語り、大城辰彦初代事務局長などの昔話に花を咲かせました。「茶論」執筆については、学生の頃から国語の成績が良かったことを紹介し、現在の執筆担当者に参考になるネタ探しのコツを伝授しました。

また、大城氏からは、糸数氏の「茶論」を含めた書き物の作品集を出版する企画が発表され、「その時代が分かる。楽しみだ」などの期待が寄せられました。

（事務局）

32年間
茶論執筆
お疲れさまでした。
糸数哲夫顧問へ